

令和4年度（2022年度）行政評価シート【個表】 令和4年7月29日

評価対象事業		評価者	商工課長 田邊 幹浩	
市民-24	公衆浴場助成事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	商工課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	産業振興	施策の方針	商工業振興の充実

1 事業の目的

対象	公衆浴場業者
意図	公衆浴場の健全な運営を支援し、市民の利便性の確保と公衆衛生の向上に努めるため。
効果	公衆浴場業者を支援することにより、市民の利便性の確保と公衆衛生の向上・増進に繋がり、更には地域におけるコミュニティの場の創出を図る。

2 令和3年度(2021年度)に実施した事業の概要

公衆浴場の設備の整備に要する経費の一部を助成した。	
---------------------------	--

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和3年度		令和4年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	公衆浴場設備助成事業	公衆浴場設備整備費補助金	市内の公衆浴場数(件)	5 /	5	5	100.00%
02				/			
03				/			
04				/			
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	289 /			
			地方債	/			
			その他特定財源	/			
			一般財源	0 /	500	629	
			事業費の合計(千円)	289 /	500	629	
			人件費(千円)		759	769	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.1	0.1	0.1			
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0			

## 5 評価結果

### (1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、 目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、 構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	公衆浴場設備助成事業	指標:市内の公衆浴場数(件)  指標分析: 公衆浴場数は昨年度から変化は なく、同業者同数となっている。	公衆浴場助成事業の主要事業として市内の公衆浴場の健全な運営に貢献しており必要である。	社会環境や経済状況を鑑みて、事業者の自助努力のみで健全な経営を行うことは、非常に難しい状況が続いている。
02				
03				
04				
05				
06				
07				
08				
09				
10				

### (2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済 ○-2 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-2 市民等と協働して実施する事業はない
		協働実施済の場合のパートナー

### (3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
市内の公衆浴場の健全な運営に貢献しており必要な事業ではあり、公衆浴場施設数の維持に寄与していることから、今後も継続していく。					

**【参考】**

**◎事業実施に係る主な指標**

指標(単位)	市内の公衆浴場数						単位	件
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
市内の公衆浴場を維持していくため	目標値	-	5	5	5	5	5	
	実績値	5	5					
	達成率	-	100.00%					

**◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)**

比較事項	公衆浴場設備整備費補助金						
団体名	鎌倉市	藤沢市	平塚市	小田原市	横須賀市	大和市	
他市実績	有	有	有	有	有	有	

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	近隣他市に、実施市もあることから、今後も実施していく。
--------------------------	-----------------------------